

※ 実績値（R2）内の「延べ」は計画期間（6年間）の合計値
達成度：6年間の達成度（達成○，未達成×，未実施－）

第1期総合戦略の具体的施策 成果

①地域で暮らすためのしごとをつくる

(i)基本目標							
江田島市生まれの若者や移住希望者の居住地などとして選択されるため、例え小規模であっても地域で暮らすための「仕事」づくりを推進します。							
目標指標	基準値 (H26)	実績値					
		(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	R2 (目標値)
創業・起業の年間件数（件）	3	9	10	15	9	7	6 (12)
農・水産業の後継者・担い手の育成（人）	延べ2	延べ6	延べ7	延べ9	延べ10	延べ10	延べ11 (延べ11)

(iii)具体的施策・施策ごとの重要業績評価指標

■施策① 農林業の振興

指標名	現状値 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (R1)	R2			
							実績	(目標値)	達成度	
有害鳥獣による農作物年間被害額（千円）	22,585	20,563	20,975	19,847	18,857	18,092	17,837	(20,000)	○	
重要業績評価指標 (KPI)	＜成果＞ 農業従事者の減少等により、有害鳥獣による農作物年間被害額が年々減少しているものの、依然として被害額は高く、その大半はイノシシ被害によるものである。 イノシシ 110 当番を設置して以降、イノシシによる被害防止の相談から現場対応まで、市民に寄り添った対応に努めている。令和 2 年度におけるイノシシの捕獲実績は、1,064 頭であり、平成 26 年度以来、捕獲頭数が 1,000 頭を超えた。要因としては、センサーカメラを活用した捕獲に一定の効果があったものと考えられる。 コロナ禍の中、地域に出向いて行うセミナーを開催することは難しい状況であるが、地域を主体とした「総合防除」（「防除」、「環境改善」、「捕獲」の一体的な取組）を行うことにより、市民の有害鳥獣に対する防除意識をより一層高め、被害額の軽減を目指す。									
	農業の後継者・担い手の育成（人）	延べ2	延べ4	延べ5	延べ6	延べ7	延べ7	延べ8	(延べ8)	○
	【目標値変更理由（H29）】 平成 31 年度（令和元年度）目標値（延べ5）を達成したため、目標値を上方に変更する（延べ8）。									
重要業績評価指標 (KPI)	＜成果＞ 現在、花き（トルコギキョウ）の研修生を 1 名受け入れており、新規就農者数は、順調に増えてきているが、令和 2 年度は、新規の研修申し込みはなかった。 今後について、研修制度のPR強化に加えて、研修修了後の就農候補地を確保することにより、受け入れ研修生を増員できる環境づくりに努める。									

	指 標 名	現状値 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (R1)	R2		
								実績	(目標値)	達成度
重要 業績 評価 指標 (KPI)	オリーブ栽培の面積 (ha)	22.6	24.6	26.1	27.1	28.1	28.8	29.9	(29.9)	○
	【目標値変更理由 (R2)】	令和元年度に行った江田島市オリーブ振興計画の変更に伴い、目標値 (35.0) を下方に変更する (29.9)。								
	《成果》	令和 2 年度は、栽培面積の目標を達成するとともに、市オリーブ振興計画（令和元年度計画変更）による植栽目標本数 700 本に対して、植栽実績本数は 701 本であり、計画目標本数も上回った。今後も、目標植栽本数等を達成できるよう市民への制度の周知、PRを行っていく。 また、令和元年度から始まった、市オリーブ振興協議会が所有する搾油機での商品化は、1 事業者増え、4 事業者が新商品を開発している。 今後も、補助制度や 6 次産業化に関する情報を早期に市民に周知して、耕作放棄地の減少や所得向上に努める。								

■施策② 水林業の振興

	指 標 名	現状値 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (R1)	R2		
								実績	(目標値)	達成度
重要 業績 評価 指標 (KPI)	かきの大規模消費地への年間共同出荷量 (t)	0	0	0	0	-	-	-	-	-
	鮮度の高いかきの生産・出荷体制の構築 (%) (H29 指標変更)	0	37.5	43.8	50.0	37.5	25.0	37.5	(100)	×
	【指標変更理由 (H29)】	大規模消費地への年間共同出荷量については、選別作業などに係る作業に見合った評価が得られないとの生産者の意見もあり、取組を中止した。新たな指標として、鮮度の高いかきの生産・出荷体制の構築 (%) を設定する。								
	《成果》	鮮度の高いかきの品質を保つためには、より冷たい環境で保存することができる海水氷の使用が有効であるため、かき養殖業者に使用の呼び掛けを行ってきた。しかしながら、費用をかけて海水氷を使用しても、販売価格に反映されない。作業所から製氷機までの移動や購入に時間がかかる。海水氷以外の方法で、かきを冷やして鮮度を保っているなどの理由から、海水氷の利用業者が増加しなかったため、目標を達成することができなかった。 このことから、海水氷に特化するのではなく、海水氷以外の方法も含めた鮮度保持により、産地から消費地まで一貫して低温の状態を保ったまま流通させるコールドチェーンの啓発に努めていく。								
	水産業の後継者・担い手の育成 (人)	0	延べ2	延べ2	延べ2	延べ3	延べ3	延べ3	(延べ3)	○
	《成果》	平成 30 年度に長期研修を修了 (H31.3.18) して独立した新規漁業者が 1 名おり、同年度において、水産業の後継者・担い手の育成人数の目標値 (延べ 3 人) を達成している。 令和 2 年度の長期研修の修了予定者はいなかったが、相談等があれば、これに応じる。								

■施策③ 商工業の振興

指標名	現状値 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (R1)	R2			
							実績	(目標値)	達成度	
企業立地奨励制度の申請者数 (人)	1	延べ 2	延べ 2	延べ 2	延べ 2	延べ 3	延べ 6	(延べ 5)	○	
重要業績評価指標 (KPI)	〈成果〉 これまで様々なマッチングセミナーに参加して周知活動に努め、市内外の企業から、新工場等の建設に伴う当制度の申請があり、目標値を上回った。また、市未利用財産の利活用の推進活動を積極的に行った結果、工場等の企業立地にもつながった。 今後も、第 2 期市総合戦略の重点取組項目である「オフィスなどの誘致」に向けて、一定規模以上の企業誘致に加え、遠隔地小規模オフィスの地方開設を希望する企業やリモートワーカーへの誘致を続ける。また、引き続き、遊休施設の情報や本市の魅力を発信するとともに、解決したい地域課題を企業に提案することで、地方での新たなビジネスチャンス創出を求める企業等の獲得を図る。									
	商工業等振興資金補助金の年間申請件数 (件)	29	20	23	22	21	33	4	(39)	×
	〈成果〉 市内中小企業者で商工会の会員に対し、運転資金と設備投資に対する円滑な借入れについて支援を行うことにより、当該会員の経営改善に努めている。 令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症に起因して、売上高等が減少している商工業等の継続的な経営に対する支援を行うため、同補助金を拡充した制度を策定し、その制度への申請が 157 件提出された。申請は、1 制度のみのため、商工業等振興資金補助金の申請件数は、4 件となった。									
	就職相談会の年間来場者数 (人)	30	67	41	52	64	49	0	(57)	×
	無料職業紹介所相談件数 (件) (H29 指標追加)	—	—	417	699	801	1,042	1,164	(540)	○
	【指標追加理由 (H29)】 単発的に開催される合同求人説明会の指標も必要であるが、島内で企業と求職者を結び付ける「無料職業紹介所」を指標として加え、支援を行いながら、人口減少・しごとの場の創出に努めたい。目標値は、平成 28 年度を基準として、各年 10% の増加を見込み目標年の数値を 540 とした。									
〈成果〉 令和 2 年度の就職相談会は、新型コロナウイルス感染症の影響により、開催が見送られた。参加企業から継続を求める声も多く、新型コロナウイルス感染症の収束後に、開催することで、成果が期待できる。 また、社会福祉協議会の無料職業紹介所における令和 2 年度の相談件数は、1,164 件であり、当該紹介所の認知度の高まりを受け、年々、増加傾向にある。市内の紹介窓口開設により、求職者のみならず、募集事業者の利便性も向上していることから、今後も事業継続が望ましい。 また、第 2 期市総合戦略の重点項目である「若年層への市内企業の紹介や就職情報の推進」に向けて、若年層 (10 代、20 代) の求職登録数を増やすため、SNS 等を活用した情報発信に力を入れて行く。										

②交流人口の増加を図り、江田島市との「縁」を有する人を増やす

(i)基本目標

来訪経験者などの増加を図り、江田島市に「縁」を有する人を増やすとともに、移住・定住を支援する体制の構築を図り、安心して暮らし続けることができる生活環境の整備を行います。

目標指標	基準値 (H26)	実績値					
		(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	R2 (目標値)
年間総観光客数（万人） ※市内外からの観光客の総数	54	54	54	63	55	52	26 (69)
定住促進策を利用した移住者数（人）	延べ229	延べ246	延べ269	延べ293	延べ315	延べ327	延べ343 (延べ379)

(iii)具体的施策・施策ごとの重要業績評価指標

■施策① 観光の振興

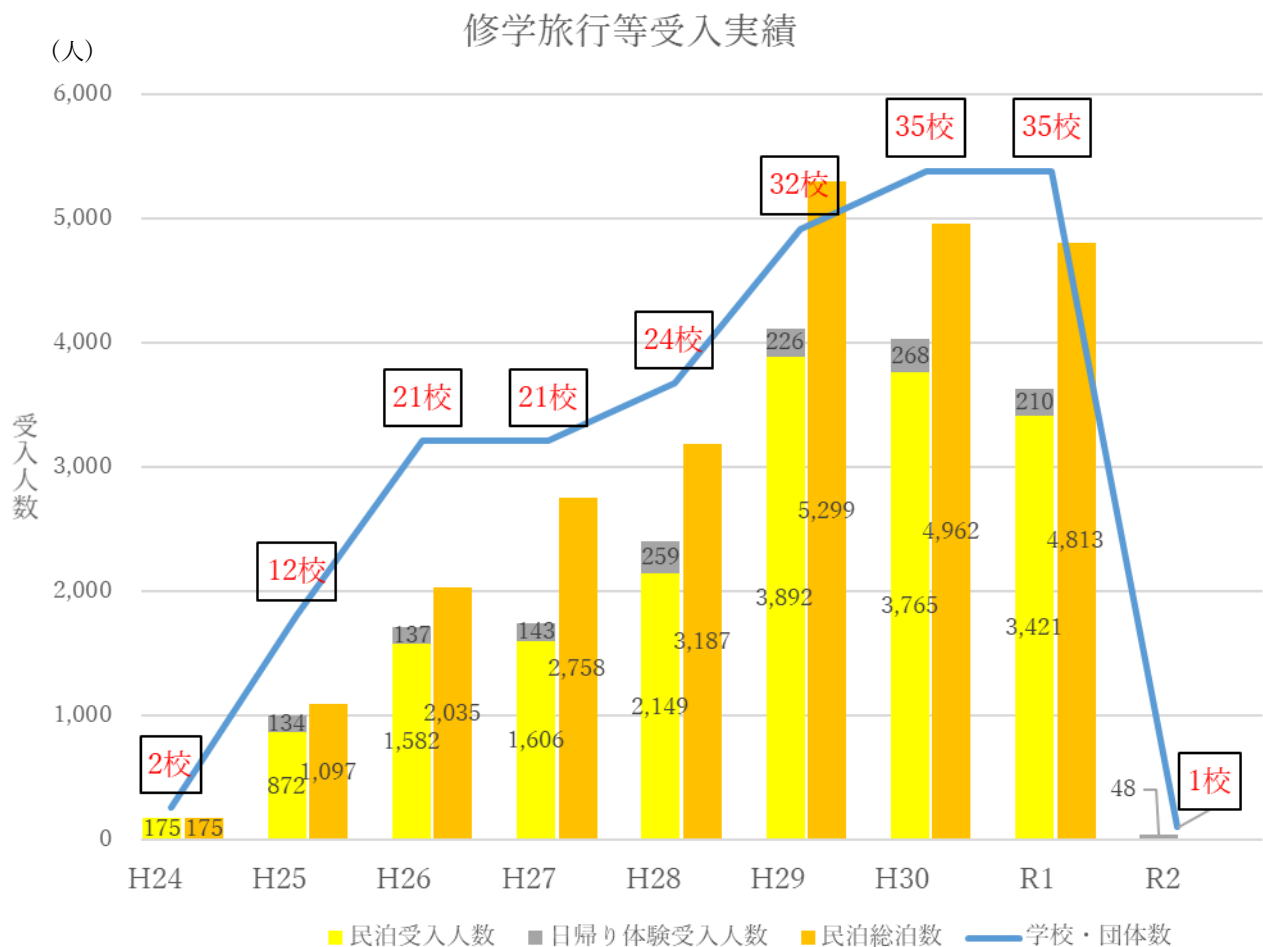
重要業績評価指標 (KPI)	指標名	現状値 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (R1)	R2		
								実績	(目標値)	達成度
	体験メニュー数（プログラム）	6	12	13	14	14	17	19	(15)	○
	【目標値変更理由（H29）】 体験メニュー数（プログラム）は、観光協会と協力して新規体験メニューを開発しており、平成31年度（令和元年度）目標値（9）に達したので、目標値を上方に変更する（15）。									
	《成果》 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市を訪れる観光客は減少している。コロナ禍においても体験型観光が楽しめるようアウトドアレジャーを中心に、引き続き、体験メニューを整備する。 令和2年度体験メニュー実績は目標値を上回ったが、現状では充足はしていない。今後も体験メニューの整備は必要と考えており、第2期市総合戦略の重点項目でも新たな体験メニューを整備するように目標設定する。観光戦略チーム「一歩」や市観光協会と連携し、観光客の消費拡大に繋がるような体験メニューの造成に努める。									

■施策② 都市基盤の整備

	指 標 名	現状値 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (R1)	R2		
								実績	(目標値)	達成度
重要 業績 評価 指標 (KPI)	市道の整備延長 (m) ※市道総延長 281km	単年 218	単年 403 延べ 403	単年 242 延べ 645	単年 244 延べ 889	単年 62 延べ 951	単年 133 延べ 1,084	単年 258 延べ 1,342	(延べ 1,200)	○
	【目標値変更理由 (R2)】 令和元年度末で、令和2年度目標値 (延べ 1,037) を既に上回ったため、上方に変更する (延べ 1,200)。									
	＜成果＞ 平成 30 年 7 月豪雨災害の影響で、一時的に進捗の遅れが生じたが、順調に回復し、目標を達成することができた。 今後も引き続き、通学路などの点検を実施し、市民のニーズに沿った整備を計画的に実施する。									
	橋梁の長寿命化更新数 (橋) ※橋梁総数 252 橋	単年2	単年4 延べ4	単年1 延べ5	単年2 延べ7	単年4 延べ11	単年0 延べ11	単年4 延べ15	(延べ27)	×
＜成果＞ 平成 30 年 7 月豪雨災害に伴う復旧工事の妨げにならないよう、発注時期の調整を行った結果、目標を達成することができなかった。 今後も、重点事業として、事業執行計画の見直しを行い、施設の長寿命化に努める。										

■施策③ 都市との交流・定住の促進

指標名	現状値 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (R1)	R2			
							実績	(目標値)	達成度	
体験型修学旅行等の受入人数(人)	単年 1,719	延べ 3,468	延べ 5,876	延べ 9,994	延べ 14,027	延べ 18,839	延べ 18,887	(延べ 18,000)	○	
重要業績評価指標 (KPI)	【目標値変更理由(R1)】 これまでの受入実績や営業活動の成果により、平成31年度(令和元年度)目標値(13,000)に達したので、目標値を上方に変更する(18,000)。									
	《成果》 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、宿泊を伴う民泊の中止を決定し、日帰りの選択別体験で1校48人の受入実績となった。 令和3年度も引き続き、宿泊を伴う民泊を中止としており、受入実績も同様の数値となる見込みである。									
	引き続き、第2期市総合戦略の重点項目である「体験型修学旅行の推進」を行っていくため、2年間の民泊中止による、民泊受入家庭の意欲低下や受入辞退の申し出による受入家庭の減少を防ぐため、各種研修や交流会を開催することにより受入家庭と顔を合わせる機会を増やし、コミュニケーションを図るとともに、民泊スタートアップガイドの作成や受入体験会などにより、受入家庭の勧誘を強化していく。									



③子どもが生まれ、育つ江田島市づくりを進める

(i)基本目標

江田島市の教育や子育てなどの環境づくりを総合的に進めることにより、次代を担う世代の確保を図ります。

目標指標	基準値 (H26)	実績値					
		(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	R2 (目標値)
合計特殊出生率	1.47 H24 数値	※ 人口動態統計において 5年ごとに数値を公表		1.62 H29 数値	※人口動態統計において 5年ごとに数値を公表		(現状より上昇)
市民満足度調査の子育て支援サービスの充実の満足度 (%)	55.5	56.7	56.4	57.0	57.3	59.5	59.8 (60)

(iii)具体的施策・施策ごとの重要業績評価指標

■施策① 学校教育の充実

指標名	現状値 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (R1)	R2			
							実績	(目標値)	達成度	
広島県「基礎・基本」定着状況調査平均通過率3ポイント以上の教科の割合 (%)	57.1	0	85.7	71.4	-	-	33.3	-	-	
重要業績評価指標 (KPI)	《成果》 指標としていた広島県「基礎・基本」定着状況調査が平成30年度から廃止されたため、平成30年度から令和元年度にかけて、全国学力・学習状況調査の結果（実績値は、算出できない。）に基づき、授業改善を推進した。令和2年度から江田島市小中学校学力調査を実施することとなり、今後はその調査結果を指標として取り組んでいく。令和2年度以降の指標を「江田島市学力調査の平均正答率が全国平均以上となる教科の割合 (%)」に改める。 また、「学びの変革」推進協議会を中心に更なる学力向上に向けた取組を推進する。									
	ふるさとへの愛着を実感した意識調査（中学校2年生）の割合 (%)	80.7	87.4	88.1	77.5	78.0	90.0	-	(85)	○
	《成果》 指標としていた「ふるさとへの愛着を実感した意識調査（中学校2年生）」は実施されなかった。 今後、各教科等の取組内容を見直すとともに、さらに総合的な学習の時間の一層の充実を図る取組として研究グループの効果的な活用を検討し、ふるさとへのよさを実感できるような教育を推進する。									
	大柵高校の定員充足率 (%)	54.2	61.7	64.1	60.8	76.7	81.7	92.5	(66.7)	○
《成果》 大柵高校魅力化コーディネーターを配置して市内の中学校へ大柵高校の魅力を発信する取組や教育活動を充実させるための支援を行った結果、定員120人に対して、生徒数は111名（92.5%）となり、目標値である80名（66.7%）を充足した。 今後も、定員充足率が継続して目標値を上回るとともに、市内からの進学者の増加につながるよう事業内容を改善しながら取組を進める。										

■施策② 子育て環境の充実

	指 標 名	現状値 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (R1)	R2			
								実績	(目標値)	達成度	
	一時預かり保育の年間利用者数(人)	778	699	610	-	-	-	-	-	-	
	就学前児童(3~5歳)に対する保育施設入園率(%) (4月1日現在) (H29指標変更)	86.2	89.8	95.2	95.6	93.3	96.2	97.3	(99.0)	×	
	<p>【指標変更理由(H29)】 一時預かり保育の年間利用者数は、入園基準となる就労時間の緩和や一部の保育園を認定こども園とすることによって保育園入園基準が緩和された。その影響により、一時預かり保育から標準入園に移行されたため、適切な指標とならなくなったため。</p>										
重要 業績 評価 指標 (KPI)	<p>《成果》 中町保育園と統合した、認定こども園のうみの園舎を新築し、保育施設の環境を整えた。また、令和元年10月から始まった教育・保育無償化も影響し、令和2年度当初の実績値が改善した。 今後も、入園希望に応じた保育士を確保し、受け入れ体制を整える。また、特色ある保育事業を全園で展開することにより、満足度の高い教育・保育を目指す。</p>										
		未満児(0~2歳児)の入園率(%)	26.5	33.3	26.4	-	-	-	-	-	-
		就学前児童(0~2歳)に対する保育施設入園率(%) (4月1日現在) (H29指標変更)	26.7	28.1	33.3	33.3	34.2	39.0	42.2	(35.0)	○
	<p>【指標変更理由(H29)】 上記の指標との文言を統一したこと及び指標の基準日を4月1日現在に統一したため。</p>										
	<p>《成果》 核家族化や就労環境の変化等により、0~2歳児の保育需要が高まる中で、生後6か月からの受入れを実施しており、実績値は上昇した。 今後も、入園希望に応じた保育士の確保に努め、保育の満足度を高めていく。</p>										

④市民満足度が高く、時代に即した「住み続けたいまち」をつくる

(i)基本目標

これまで暮らしてきた方や新たに移住してきた方が、「住み続けたいまち」と実感できる市民満足度が高いまちをつくるため、安心・快適に暮らせる地域の機能の充実を図ります。

目標指標	基準値 (H26)	実績値					
		(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	R2 (目標値)
市民満足度調査の全項目平均割合 (%)	54.6	55.1	55.2	55.5	55.6	55.7	56.3 (60)
市民アンケート調査による江田島市への愛着があると答えた割合 (%)	62.5 H25 調査	-				65.4	-※ (70)
		※5年に1回の調査のため					

(iii) 具体的施策・施策ごとの重要業績評価指標

■施策① 生涯学習の充実

重要業績評価指標 (KPI)	指標名	現状値 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (R1)	R2		
								実績	(目標値)	達成度
重要業績評価指標 (KPI)	公民館類似施設の年間利用回数 (人/回)	3.29	3.47	3.60	3.42	3.37	3.21	1.96	(3.6)	×
	《成果》 1年を通じたコロナ禍の中、講座や自主グループの定期活動等は中止となり、利用回数は伸びなかった。また、大柿市民センターが休館になったことも要因と考える。 引き続き、利用者のニーズ把握に努め、新規利用やリピーターの確保に向け、事業を進めていく。									

	指 標 名	現状値 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (R1)	R2		
								実績	(目標値)	達成度
重要 業績 評価 指標 (KPI)	図書館の利用登録者数人口比率 (%)	46	47	49	55	57	60	63	(61)	○
	【目標値変更理由 (H30)】 平成 29 年度末で、平成 31 年度 (令和元年度) 目標値 (50) を既に上回ったため、上方に変更する (56)。									
	【目標値変更理由 (R1)】 平成 30 年度末で、平成 31 年度 (令和元年度) 目標値 (56) を既に上回ったため、上方に変更する (58)。									
	【目標値変更理由 (R2)】 令和元年度末で、令和 2 年度目標値 (56) を既に上回ったため、上方に変更する (61)。									
	《成果》 2 館 2 室の共同企画による「本でめぐる江田島しましまスタンプラリー」の事業や県内の図書館との相互貸借制度が市民に浸透したこと、どこの図書館 (室) でも返却できる「借りやすく、返しやす」環境になっていること、市民サービスセンター等の図書館以外での予約図書の出・返却サービスの利用が定着したことが、上昇につながった。 今後も、年齢・世代別及び障害者など利用者に応じた図書館サービスの充実に取り組む。									

施策② スポーツの振興

	指 標 名	現状値 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (R1)	R2		
								実績	(目標値)	達成度
重要 業績 評価 指標 (KPI)	社会体育施設の年間利用 回数 (人/回)	3.53	3.91	3.86	3.82	3.34	3.52	2.60	(3.8)	×
	《成果》 新型コロナウイルスの影響で、利用者が減少し、目標値を達成することができなかった。 今後は感染症対策を取りながら、既存スポーツ施設の管理運営体制の強化・見直しの検討と併せ、設備、備品などの充実を図る。									
	スポーツ少年団 (小学 生) の加入比率 (%)	24	24	21	29	31	26	23	(26)	×
	《成果》 新型コロナウイルスの影響もあったのか、前年より加入比率が減少し、目標値を達成することができなかった。 今後も新規団体の加入は見込みにくく、少子化の影響で加入比率の減少が避けられないため、スポーツ少年団のPRと指導者の養成支援に取り組み、現団体の団員数の増加に努める。									

■施策③ 保健・医療の充実

指 標 名	現状値 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (R1)	R2			
							実績	(目標値)	達成度	
がん検診受診率 (%)	胃 10.9	胃 4.0	胃 8.0	胃 8.8	胃 7.5	胃 6.0	胃 5.1	(胃 16.0)	×	
	肺 18.7	肺 7.5	肺 8.2	肺 8.8	肺 6.7	肺 7.0	肺 5.2	肺 24.0		
	大腸 22.0	大腸 9.2	大腸 9.8	大腸 10.4	大腸 7.5	大腸 7.6	大腸 5.4	大腸 24.0		
	子宮頸がん	子宮頸がん	子宮頸がん	子宮頸がん	子宮頸がん	子宮頸がん	子宮頸がん	子宮頸がん		
	28.5	15.7	19.0	18.0	16.1	13.3	11.7	25.0		
	乳がん	乳がん	乳がん	乳がん	乳がん	乳がん	乳がん	乳がん		
	28.2	14.8	17.5	17.9	15.4	10.5	8.3	30.0)		
※暫定値										
重要業績評価指標 (KPI)	＜成果＞ 受診率の減少については、国庫補助の削減によるクーポン券の廃止により、個人負担が生じたことが影響していると思われる。 更に、令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、集団健診を中止し個別健診のみの実施としたこと及びコロナ禍での受診控えが影響し、各検診受診率が減少した。 また、がん検診受診率は、県の示すものと同様で国保加入者の 20 歳代から 60 歳代までの実績になっている。そのため、社会保険等に参加している働く世代の検診状況は含まれておらず、把握できないこともあるため、今後は、市民全体の受診状況の把握に向けた本市独自の調査を検討し、受診勧奨を勧めていく仕組みづくりに努めていく。									
	メタボリックシンドローム該当者及び予備群該当者の割合 (%)	30.6	29.5	29.0	31.3	33.2	31.4	36.3	(27.0)	×
重要業績評価指標 (KPI)	＜成果＞ 割合前年比が 4.8 ポイント上昇した。原因としては、新型コロナウイルス感染症のまん延による、外出控えや自宅で過ごす時間が多くなったことによる、運動不足及び過飲食の機会の増加などが考えられる。 市で専門職による健診後の相談や特定保健指導を実施しているが、大きな効果はなかった。 今後は、ハイリスク者への保健指導は勿論のこと、予備群を含めた各地域での健康相談及び健康体操の実施を計画していく。									
	3歳6か月児の虫歯の有病率 (%)	26.6	24.0	21.8	28.1	27.5	29.1	13.8	(20.0)	○
重要業績評価指標 (KPI)	＜成果＞ 乳幼児健診及び離乳食教室で、歯科保健指導を実施するなど、継続的に虫歯予防対策に取り組み、令和 2 年度は有病率が低下し、目標値を達成した。 今後も、継続して虫歯予防対策に取り組み、有病率の低下を目指す。									

■施策④ 高齢者福祉・介護の充実

指標名	現状値 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (R1)	R2		
							実績	(目標値)	達成度
居宅サービスの年間受給者数(人)	10,659	10,788	11,030	11,097	10,093	11,097	11,050	(12,790)	×
<p>《成果》 令和2年度の居宅サービスの年間受給者数(令和元年度 11,097人→令和2年度 11,050人)は、前年度と比べ、47人減となった。目標値に達成できなかった理由の一つとしては、平成30年度豪雨災害により、市内通所介護事業所が廃止になってしまったことや、利用者(家族)が施設サービスの利用を希望している方が多いこと等が考えられる。 介護サービスを希望する高齢者に対し、必要な居宅サービスの提供が図れていると考えられる。一方で、介護サービスを利用しない元気な高齢者を増やす必要もあるため、介護予防、重症化予防を行い、いつまでも住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、引き続き、地域による介護予防の取組を支援する。</p>									
シルバー人材センターの会員数(人)	199	203	205	209	216	221	221	(230)	×
<p>《成果》 当該センターによる新規会員加入の取組により、5人増加した。 市としては、会員数の維持・増加に向け、引き続き、当該センターの運営費などを補助するとともに、地域における要支援者に対する新たな事業の展開など、事業の充実化を支援していく。</p>									
住民主体の介護予防教室数(教室)	0	27	52	57	65	69	73	(80)	×
<p>【目標値変更理由(H29)】 平成28年度末で、箇所数は52教室となり、平成31年度(令和元年度)目標値(20)を既に大きく上回ったので、目標値を上方に変更する(70)。</p>									
<p>【目標値変更理由(H30)】 平成29年度に策定した「高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画」において、平成31年度(令和元年度)の目標値を75か所としているため、整合をとる(70→75)。</p>									
<p>【目標値変更理由(R2)】 平成29年度に策定した「高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画」において、令和2年度の目標値を80か所としているため、整合をとる(75→80)。</p>									
<p>《成果》 平成27年9月から開始した住民主体の通いの場(地域介護予防活動支援事業)は、箇所数が73、参加率が10.86%(高齢者数に対する参加者数の割合)となり、県内でもトップクラスの実施率を維持している。 引き続き、社会参加による介護予防を推進するため、住民主体の介護予防活動の場の立ち上げや継続支援を行う。</p>									

重要
業績
評価
指標
(KPI)

■施策⑤ 障害者福祉の充実

	指 標 名	現状値 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (R1)	R2			
								実績	(目標値)	達成度	
重要 業績 評価 指標 (KPI)	障害者等の年間相談支援者数 (人)	障害者 193 障害児 24	障害者 267 障害児 29	障害者 309 障害児 34	障害者 340 障害児 41	障害者 382 障害児 42	障害者 402 障害児 44	障害者 399 障害児 58	障害者 (300) 障害児 (40)	○ ○	
	《成果》 障害福祉について、相談者に対し、積極的に相談支援事業所を紹介しており、くらしサポートセンターなどの他機関と連携し、相談を行っている。 今後も、取組を継続し、相談支援に努める。										
	障害者就労施設等の市 からの年間物品等調達 件数(件)	1	1	1	3	3	3	3	3	(5)	×
	《成果》 調達物品等が継続調達できているものの、固定化している。 今後も、ふるさと納税返礼品やいきいき百歳体操ポイント交換品リストに登録するなど、調達件数の向上に努めていく。なお、これまでの取組みの成果として、市内事業所製品(1件)が令和3年度下半期から百歳体操ポイント交換リストの登録に繋がった。										

■施策⑥ 社会福祉の充実

	指 標 名	現状値 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (R1)	R2		
								実績	(目標値)	達成度
重要 業績 評価 指標 (KPI)	高齢者等に対する見守り 支援活動地区(地区)	12	12	13	13	13	13	14	(17)	×
	《成果》 令和2年度においては1か所活動地区を増やすことができた。地区ごとに様々な課題を抱えており、見守り支援だけに特化できていない部分がある。特定の地区での取組は一定の成果をあげつつも、全市的な広がりになっていないのが現状である。また、コロナ禍で活動が難しい現状もあった。 引き続き、既存の民生委員・児童委員による訪問、まちづくり協議会による友愛訪問などが活発な地域を中心に社会福祉協議会などと連携を密にし、取組地区を拡大させていく。									

■施策⑦ 公衆衛生の確保

	指 標 名	現状値 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (R1)	R2		
								実績	(目標値)	達成度
重要 業績 評価 指標 (KPI)	ゴミの総排出量(t)	10,098	9,504	8,994	8,812	10,651	13,269	8,543	(8,513)	×
	《成果》 平成30年7月豪雨災害のごみ処理が終了し、前年度と比べてごみ量が減少した。 引き続き、事業系一般廃棄物の減量化を進める必要があることから、各種補助制度の活用により、ゴミの減量化を図る。									
	ゴミのリサイクル率(%)	6.8	7.3	8.0	7.3	6.2	5.2	5.3	(7.7)	×
	《成果》 平成30年7月豪雨災害の影響が落ち着き、リサイクル率が横ばいとなった。 本市においても、更なる資源ゴミの回収を進めるため、引き続き、ホームページや広報によるゴミの出し方の周知及び処理施設での資源化の徹底により、リサイクル率の向上に努める。									

■施策⑧ 自然環境の保全

	指 標 名	現状値 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (R1)	R2		
								実績	(目標値)	達成度
重要 業績 評価 指標 (KPI)	海ゴミの年間清掃活動(件)	13	16	78	92	78	100	146	(90)	○
	【目標値変更理由(H29)】 地域環境保全対策費補助金を活用した、海岸漂着物等清掃業務を実施したことで、平成31年度(令和元年度)目標値(20)を大きく上回ったため、目標値を上方に変更する(90)。									
	《成果》 シルバー人材センターに海岸漂着物等清掃業務を委託するとともに、ボランティアが活動しやすい場を提供するため、ゴミ袋の配布、ゴミ回収車両の出動などを行うことにより、市内海岸の環境保全に努めている。その結果として、目標値を達成することができた。 今後も、積極的に清掃活動に取り組む。また、海ゴミの減量化のため、ホームページや広報で市民に呼びかけるほか、事業者を訪問して説明するなどの取組を行う。									
	合併浄化槽の設置台数(台)	780	811	853	902	946	974	1,001	(975)	○
《成果》 令和2年度の設置台数は27台で、令和元年度の設置台数(28台)とほぼ同数であった。 補助金制度が周知されたことで合併浄化槽への転換が促進し、目標値を達成することができた。今後も、補助金制度の周知に努め、設置促進を図る。また、既設浄化槽の適正管理にも積極的に取り組み、水質の保全に努める。										

■施策⑨ 大規模災害時の危機管理

	指 標 名	現状値 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (R1)	R2		
								実績	(目標値)	達成度
重要 業績 評価 指標 (KPI)	地域防災リーダーの育成(人)	50	98	145	176	176	196	196	(246)	×
	《成果》 コロナ禍により、防災リーダー育成研修会を実施することができなかった。 引き続き、地域防災リーダーの育成のための継続的な取組を実施する。									
	防災資機材の整備団体(団体)	2	2	6	10	15	17	19	(19)	○
	【目標値変更理由(R1)】 防災資機材の定義が明確でなかったため、救助器具(ジャッキ等)とそれを搬送するリヤカーに整理した。このため、実績を修正するとともに、平成31年度(令和元年度)目標値(17)を変更する(19)。									
	《成果》 令和2年度において、計画的な救助用資機材等の配備が完了した。									

■施策⑩ 総合的な消防体制の充実・強化

	指 標 名	現状値 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (R1)	R2		
								実績	(目標値)	達成度
重要 業績 評価 指標 (KPI)	予防救急の普及啓発活動(件)	0	延べ 20	延べ 35	延べ 71	延べ 114	延べ 180	延べ 193	(延べ 225)	×
	《成果》 新型コロナウイルス感染症の影響で、人と人との接触を避けることが求められ、普及啓発活動が難しい状況であることから、令和2年度の実績は13件であった。 コロナ禍は続くが、引き続き、3密を避けた普及啓発活動により予防救急の継続に努める。									
	人口1万人あたりの高齢者に 関係する年間出火率(件)	5.93	5.11	4.46	3.33	4.26	4.5	3.6	(5)	○
	《成果》 令和2年中15件の火災が発生し、そのうちの8件は、高齢者が係わるものであった。高齢者に関係する年間出火率は3.6件で昨年に比べ減少し、目標値もクリアした。出火原因としては、畑の草焼きなどが全体の40%以上を占め、その多くは高齢者によるものであることから、今後も継続して管内パトロールと現地での直接指導等を行い、出火率の低減を図る。									

■施策⑪ 暮らしの安全確保

	指 標 名	現状値 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (R1)	R2			
								実績	(目標値)	達成度	
重要 業績 評価 指標 (KPI)	子ども見守りグループ の育成(グループ)	4	2	3	—	—	—	—	—	—	
	特殊詐欺被害額(千円)	120,000	25,460	15,900	196	2,828	2,500	0	(6,000)	○	
	【指標変更理由(H29)】 子ども見守り活動は、現在、活動しているグループを啓発活動などで活性化させることを取組 としているが、本市の現状で、より重点を置かなければならない防犯対策は、高齢者などを対象 とした特殊詐欺被害防止であるため、特殊詐欺被害額の減少を新指標とし、被害防止のための普 及啓発活動を行う。										
	＜成果＞ 江田島警察署や江田島市防犯連合会と連携した啓発活動により、目標値の指標としている特殊 詐欺被害額が0円となった。 引き続き、防犯関係機関・団体と連携した啓発活動を行うことで、被害額の減少を図る。										
	消費者被害防止等の 年間啓発活動(回)	5	5	8	8	8	13	10	(8)	○	
	【目標値変更理由(H30)】 各町の民生委員に対する出前講座(年4回)と広報紙による啓発活動(年4回)が定着したた め、平成31年度(令和元年度)目標値(7)を上方に変更する(8)。 ＜成果＞ 昨年度と同様に、出前講座と広報による啓発活動を実施した。出前講座では、サロンや自治会 に対しても実施することができた。 引き続き、全国消費生活情報ネットワークシステムを活用し、被害情報と対応方法を入手して 消費トラブルに対応するなど、被害の未然防止と救済を行い、現在の啓発活動を維持しながら、 被害の防止に努める。										

■施策⑫ 都市基盤の整備

	指 標 名	現状値 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (R1)	R2		
								実績	(目標値)	達成度
重要 業績 評価 指標 (KPI)	法定外公共物(河川・水 路)の改修補助件数(件)	単年15	単年16 延べ16	単年10 延べ26	単年10 延べ36	単年10 延べ46	単年10 延べ56	単年10 延べ66	(延べ75)	×
	＜成果＞ 近年の豪雨災害により法定外公共物も多く被災を受け、被災箇所の災害復旧優先の観点から地 域の施工業者が人手不足となり、補助事業の利用が伸び悩んだため、目標値を達成できない結 果となった。 今後も、受益者負担による公平性を保ちながら、幅広く利用できる制度となるよう検証を行 い、当該補助事業の執行に取り組んでいく。									

■施策⑬ 生活基盤の整備

	指 標 名	現状値 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (R1)	R2		
								実績	(目標値)	達成度
重要 業績 評価 指標 (KPI)	市営住宅の改修戸数(戸)	単年 10	延べ 15	延べ 20	延べ 30	延べ 36	延べ 42	延べ 42	(延べ 42)	○
	《成果》 令和2年度は、計画どおり次年度以降の改修工事の設計を実施した。 令和3年度以降も、市営住宅長寿命化計画に沿って効率的に事業を進めていく。									
	インターネットの加入率(%)	35.7	41.2	42.1	43.2	44.0	45.0	46.6	(44.6)	○
	《成果》 目標値を達成し、便利で快適な生活を支える情報通信基盤を整えることができた。 ※ 現在は、他業者が光回線を販売できるようになったため、市全体の加入率の把握が困難になっている。上記数値は、N T Tに直接申し込んで加入した件数で、実際は、これよりも多いと考えられる。									

■施策⑭ 生活交通の確保

	指 標 名	現状値 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (R1)	R2		
								実績	(目標値)	達成度
重要 業績 評価 指標 (KPI)	航路利用者の前年比減少率(%)	△4.2	△4.3	△2.8	△3.5	△1.6	△7.0	△20.1	(△3.5)	×
	《成果》 航路事業者は、利便性を図る取組として、キャッシュレス対応した券売機や船内への広島フリーWi-Fiの導入などを行ったが、長期化する新型コロナウイルス感染症の影響により、航路利用者は大幅な減少となった。 引き続き、航路事業者と連携した需要喚起策や公共交通に関する情報提供を行いながら、目標値達成を目指す。									
	路線バスの年間利用者数(万人)	70	48	48	47	47	49	44	(70)	×
	《成果》 バス事業者は、24時間乗車券(MOBIRY)の販売やバス路線を利用した観光コースをHPに掲載するなど、利便性を向上するための取組を行っているが、コロナ禍により生じた利用者の減少は回復する状況にはない。 引き続き、事業者と連携しながら、通勤通学に適したバス路線網の改善を図り、陸上交通と海上交通の乗換えの円滑化を目指していく。また、観光客等に対しては、デジタルサイネージ及びバスロケーションシステム等を活用しながら、公共交通に関する情報を発信していく。									

■施策⑮ コミュニティの振興

	指 標 名	現状値 (H26)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	実績 (R1)	R2		
								実績	(目標値)	達成度
重要 業績 評価 指標 (KPI)	まちづくり協議会の設置数 (協議会)	8	9	14	18	19	20	21	(21)	○
	【目標値変更理由 (H29)】 平成 31 年度 (令和元年度) 目標値 (14) を達成したため、目標値を上方に変更する (19)。									
	【目標値変更理由 (R1)】 平成 31 年度 (令和元年度) 目標値 (19) を達成したため、目標値を上方に変更する (20)。									
	【目標値変更理由 (R2)】 令和 2 年度目標値 (20) を達成したため、目標値を上方に変更する (21)。									
	《成果》 令和 2 年度中に、新たに 1 協議会 (大幸まちづくり協議会) が設置され、残り 1 地区 (大柿町大古) となり、地域運営組織の基盤づくりが進展した。 今後も、まちづくり協議会未設置地域への働きかけを継続し、組織づくりや活動の充実による地域の活性化を図る。									
	地域提案型活動支援 補助金の申請数 (件)	単年3	延べ12	延べ21	延べ35	延べ46	延べ62	延べ62	(延べ39)	○
《成果》 令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、集客イベント等の事業実施が困難な状況となったため、申請受付を見合わせた。 今後も、制度の周知に努め、地域活動の掘起こしや活動意欲の向上を促し、地域住民の自主的な活動の後押しができるよう、補助制度の見直しを行いながら事業を進める。										